

弓削商船高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	専門英語1
科目基礎情報				
科目番号	2A18	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科	対象学年	2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	Let's Enjoy Maritime English : 商船高専キャリア教育研究編(海文堂)			
担当教員	Jambal Odgerel			
到達目標				
航海、運用術、法規、計器種など専門知識を十分に理解し、なお目つ外国人船員との業務上英会話が成立する必要がある。従って海事基礎英語の理解力を身につけるために、船内生活又は船の出港や入港などに関わる指示伝達に関する英会話習得を目指す。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
海事英語の基礎力を身につける。	習った単語、フレーズを利用して文章を作り自ら正しい表現することができる。	習った単語、フレーズを利用した文章を理解できる。	習った単語、フレーズを利用した文章を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教養 C1 専門 E3				
教育方法等				
概要	船内生活又は船の出港や入港にかかる英単語(基礎専門用語)や会話習得できるよう講義を行う。			
授業の進め方・方法	マリタイムカレッジシリーズのLet's Enjoy Maritime Englishを用いて講義形式で行う。			
注意点	英和辞典を必ず持参のこと。			
実務経験のある教員による授業科目				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	
		2週	Onboard life	船内マイクによる放送等に用いられる、日常会話に無いフレーズを覚えて慣れる。
		3週	Onboard life	船内マイクによる放送等に用いられる、日常会話に無いフレーズを覚えて慣れる。
		4週	Stations for leaving port and entering port.	出港又は入港作業に関するフレーズの意味を理解できる。
		5週	Stations for leaving port and entering port.	出港又は入港作業に関するフレーズの意味を理解できる。
		6週	Maritime communication phrases	読解学習問題を解き入港、出港等に関する基本的な表現を理解できる。
		7週	Maritime communication phrases	読解学習問題を解き入港、出港等に関する基本的な表現を理解できる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	Stations for anchoring and leaving anchorage	投錨や抜錨作業又は航海計器の電源、作動確認や主機の増減速に関するフレーズを理解できる。
		10週	Stations for anchoring and leaving anchorage	投錨や抜錨作業又は航海計器の電源、作動確認や主機の増減速に関するフレーズを理解できる。
		11週	Maritime communication phrases	投錨や抜錨作業又は航海計器の電源、作動確認や主機の増減速に関するフレーズを理解できる。
		12週	Maritime communication phrases	投錨や抜錨作業又は航海計器の電源、作動確認や主機の増減速に関するフレーズを理解できる。
		13週	Machinery operation	読解学習問題を解き錨地や速力増減等に関する基本的な表現を理解できる。
		14週	Machinery operation	読解学習問題を解き錨地や速力増減等に関する基本的な表現を理解できる。
		15週	Wheel order	SMCPに定められた標準操舵号令を理解できる。
		16週	期末試験	
評価割合				
	定期試験	小テスト	レポート	口答発表
総合評価割合	90	0	10	0
知識の基本的な理解	90	0	0	0
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0
汎用的技能	0	0	0	0
主体性・継続的な学習意欲	0	0	10	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0
	成果物, 実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	100
知識の基本的な理解	90	0	0	90
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0
汎用的技能	0	0	0	0
主体性・継続的な学習意欲	0	0	0	10
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0